原子力機構 (スポーク空洞、大電流電子源)

日本原子力研究開発機構 羽島良一、沢村 勝、西森信行

光・量子融合連携研究開発プログラム 「小型加速器による小型高輝度X線源とイメージング基盤技術開発」 第13回全体会議 2015/10/6、早稲田大学

スポーク空洞開発の現状

金型計算

周波数を325MHzから650MHzに変更

• ABAQUSで厚さ方向を4分割した計算を実行中

O325MHz

3.5mm

(当初プラン)

O650MHz

2.0mm

周波数を変え、

O650MHz

2.2mm

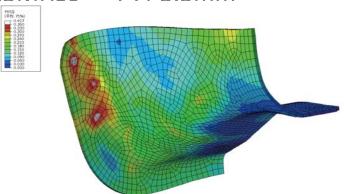
シート厚を変更

O650MHz

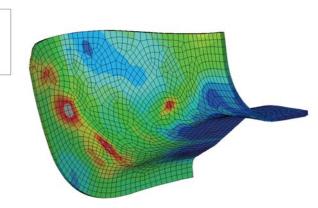
2.4mm

周波数とシート厚 (表面)

325MHzシート厚3.5mm



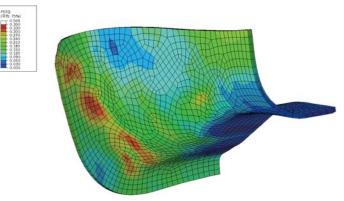
650MHzシート厚2.0mm



ألمند .

ODB 150-325Mrs-2-thick-17.odb Abagu/Explict 6.14-1 Sun Aug 16 13 22-41 JST 2015

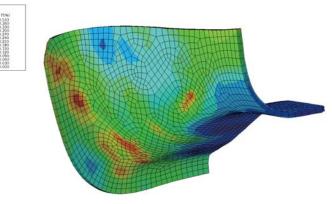
650MHzシート厚2.2mm



أحد

008: tsb-650MHz-2-thick2000a-19.odb Abaqus/Explice 6.14-1 Tue Aug 18.14-11-36 JST 2015

650MHzシート厚2.4mm

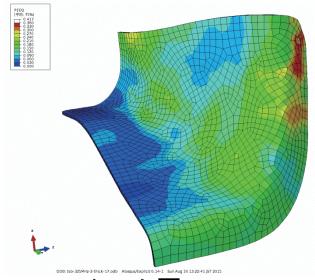




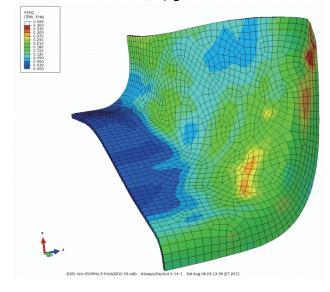


周波数とシート厚 (裏面)

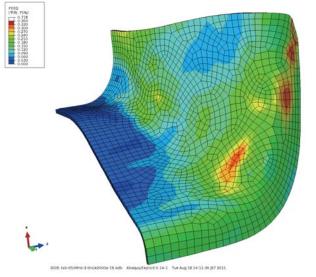
325MHz シート厚3.5mm



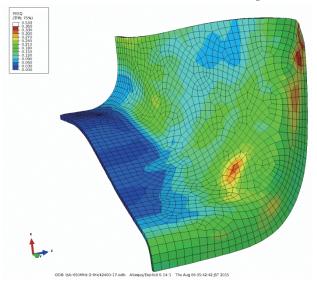
650MHzシート厚2.2mm



650MHzシート厚2.0mm



650MHzシート厚2.4mm



周波数とシート厚

- 周波数によるスケーリングで大きな差はなさそう
- シート厚の違いの差もあまり大きくなさそう



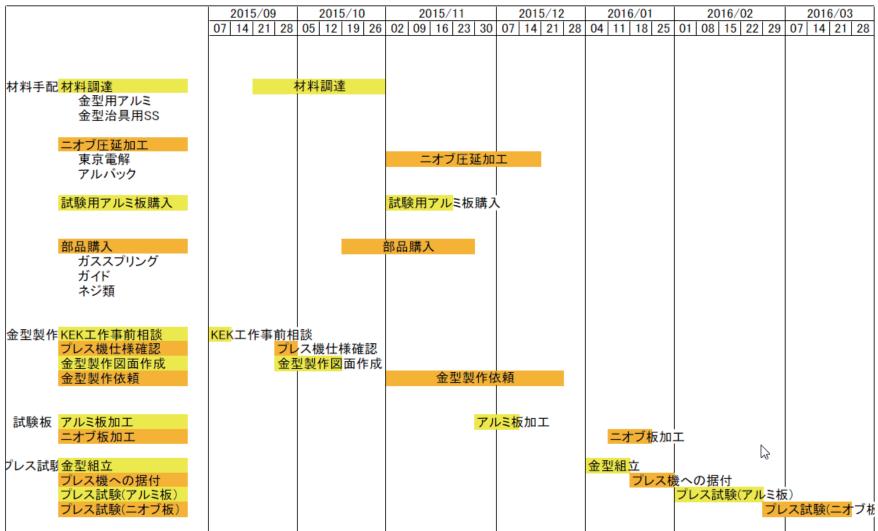
- 金型はスケーリングしたサイズで作成
- ニオブシートは厚めのもの(2.5mm)を使う
 - テスト用のアルミ板 規格品2.5mm

マシニングセンタ加工範囲



- 650MHzにしたことによりダイ以外はKEKのマシニングセンタの加工範囲内に入る
- ダイは分解する必要がある

今後の工程予定



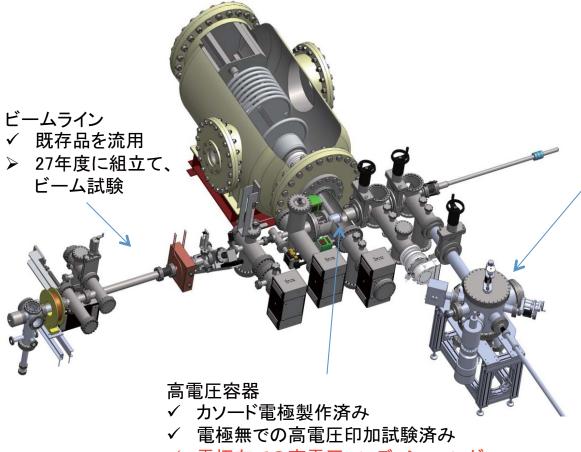
- 金型加工 11月~12月
- プレス試験 2月~3月

大電流電子源、進捗状況

50mA級大電流光陰極の開発状況と予定

27年度計画

1. マルチアルカリ光陰極を電子銃に組み込み電子ビーム生成試験を 行う



マルチアルカリ準備容器

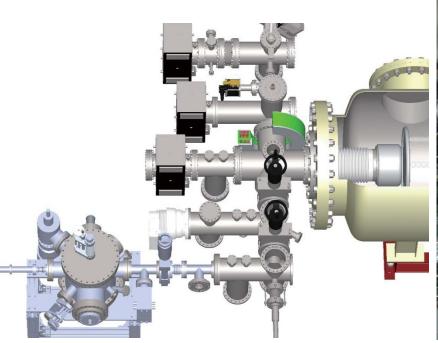
- ✓ <5e-9Paを達成</p>
- 光陰極(Cs₃Sb)を試作、QE=0.37%

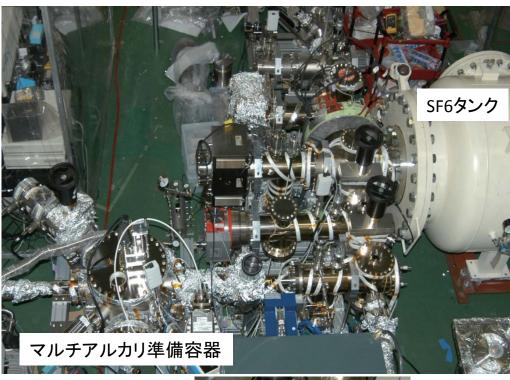
✓ 電極有での高電圧コンディショニング

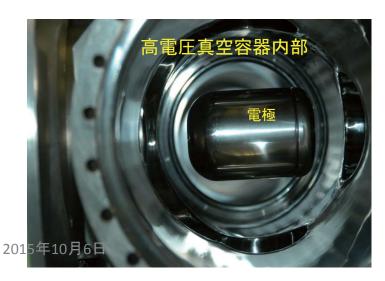
> 電極有での高電圧長時間印加試験

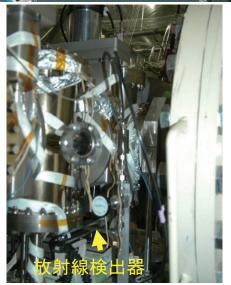
2015年10月6日

高電圧コンディショニング電極有

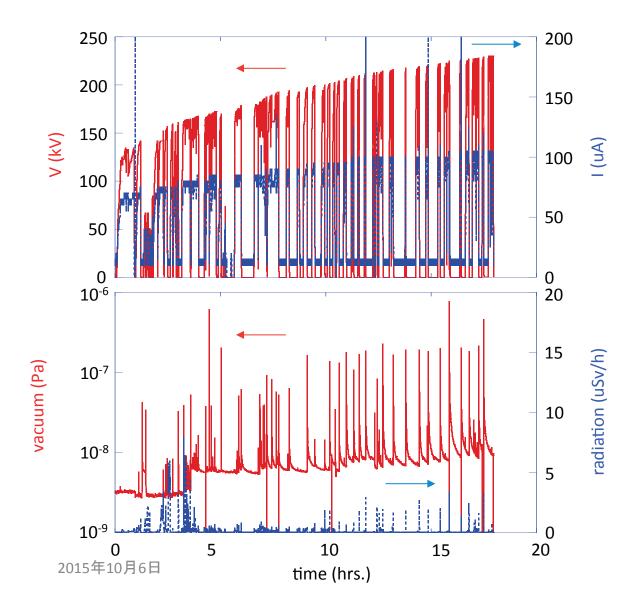








高電圧コンディショニング電極有



130kV位からアクティビティ有り。 18時間くらいで順調に230kVに到達。 コンディショニング時はHVとloading容器間の バルブを開き、ターボでも引いた。 230kV印加時のコッククロフト電源の電流値は 電極無とほぼ同じ。

保持試験のためインターロックシステム を構築中。

大電流電子源、今後の予定

まとめ

✓ 電極有で高電圧コンディショニングを行い、230kVに到達した。

予定

- ➤ 200kVで長時間高電圧保持試験
- ➤ Cs₃Sbカソードを用いたビーム生成試験